

NEWSLETTER No.101 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ**
 ISSN 1340-5578 The Society for Research in Asiatic Music September 20, 2017

一般社団法人 **東洋音楽学会** **会報** 第**101**号

発行 一般社団法人東洋音楽学会
 事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
 ●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : http://tog.a.la9.jp

目次

第6回定時社員総会のお知らせ…………… 1	ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ…………… 4
総会への出席と「書面議決書」または 「委任状」提出のお願い…………… 1	東日本支部からのお知らせ…………… 5
第68回大会のご案内…………… 2	西日本支部からのお知らせ…………… 6
第35回田邊尚雄賞アンケートのお願い…………… 3	会員異動…………… 6
会員の受賞…………… 3	図書・資料等の受贈…………… 6
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ…………… 3	新刊書籍…………… 6
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ…………… 3	新発売視聴覚資料…………… 8
	編集後記…………… 8

第6回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位

一般社団法人東洋音楽学会 会長 遠藤徹

第6回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第6回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2017年11月11日(土) 16時50分～17時30分

場所 沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール

審議事項

第1号議案 2016年度事業報告の件

第2号議案 2016年度収支決算の件

第3号議案 2017年8月31日現在貸借対照表および正味財産増減計算書の件

第4号議案 2017年8月31日現在会員異動状況の件

第5号議案 その他

報告事項

- ・2017年度事業計画の件
- ・2017年度収支予算の件
- ・その他

・総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いします。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書または委任状提出のお願い」をご熟読ください。

・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

正会員のみならず、総会の成立には正会員の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。

総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。やむを得ず総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。

①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10月上旬に学会のホームページに掲載されます。担当理事から、10月上旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決書行使する場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。配信先は、学会に届けてある(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した方は至急学会事務所まで新しいメールアドレスをお知らせください。

インターネットを使わない正会員の方で、書面議決書の提出を希望される方は、学会事務所にご相談ください。

②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄を選択の上、代理人の氏名をご記入下さい。代理人は正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います。

総会欠席の場合には「書面議決書」か「委任状」のいずれかを提出ください。総会成立のためにご協力くださるようお願いいたします。

第68回大会のご案内

東洋音楽学会第68回大会は、同封のプログラムの通り、沖縄県立芸術大学当蔵キャンパスにて開催します。多くの会員のご参加をお待ちしています。

第1日(11月11日)の午後は、沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス奏楽堂にて、開催地・沖縄に因んだ公開講演会、シンポジウム、公開演奏会を行います。公開講演会では、講師として、《島唄》の大ヒットで知られる元 The Boom ヴォーカリスト・沖縄県立芸術大学非常勤講師の宮沢和史氏をお迎えします。宮沢氏には、2016年末から2017年春にかけてご自身が製作された245曲17枚組のCDボックス『沖縄／宮古／八重山 民謡大全集I 唄方』に関する講演をしていただきます。

公開シンポジウムでは、宮沢氏に加えて、沖縄県三線製作事業協同組合の仲嶺幹氏、沖縄文化芸術振興アドバイザーの平田大一氏をお招きします。三者には、沖縄県内における三線製作とその伝承の課題についてディスカッションしていただきます。

公開演奏会では沖縄県立芸術大学学生による琉球芸能をご披露します。今回は近年の研究成果にもとづいて、歴史史料をふまえた楽器編成や舞踊曲構成、日本音楽との関係性、音

楽構造と舞踊との連関といった視点から、歌三線、箏曲、舞踊の演目を紹介・解説します。

第2日(11月12日)は、同キャンパス一般教育棟講義室3階の3会場で、研究発表とセッションを行います。最新の研究成果に基づく、大変内容の濃い議論が期待されます。

なお、観光客の増加で那覇市周辺はホテルがとりにくくなっています。まだ、航空券と宿泊の手配がお済みでない方は、できるだけ早く確保することをお勧めします。

◎出欠の回答

同封の返信ハガキの各欄にもれなくご記入の上、10月20日(金)必着でご返送ください。大会にご欠席の場合も、正会員は、総会の議決権に関する事項を返信ハガキの表面下欄に記入の上、必ずご返送ください。

◎大会参加費、懇親会費、弁当代の納入

同封の払込用紙にて、10月31日(火)までにご入金ください。その場合の参加費は、以下の「事前支払い」の金額となります。当日受付でお支払いの場合には、金額が異なりますのでご注意ください。

大会参加費

正会員 事前支払 3,000円

当日支払 3,500円

正会員のうち大学院生(修士課程・博士課程・研究生)、
ならびに学生会員

事前支払 1,500円

当日支払 2,000円

非会員(第2日のみ) 資料代1,000円

懇親会費

正会員 5,000円

正会員のうち大学院生、ならびに学生会員 2,500円

弁当代(第2日) 800円(お茶付き)

*同封の払込用紙は大会専用です。学会費の納入にはご使用にならないようにお願いいたします。

*期日を過ぎて入金された方は、受領証をご持参いただき、当日受付にてご提示ください。

*大会第2日のお弁当(お茶付き)は、返信ハガキにてご注文の上、期日までに払込用紙にて代金をお支払いいただいた方にご用意いたします。期日を過ぎて入金された場合、ご用意することができませんので、あらかじめご了承ください。

*プログラムの再配布はいたしません。当日は同封のプログラムを忘れずにご持参ください。

第35回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第35回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせください。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象: 2017(平成29)年1月1日~12月31日の発行物

受付期間: 随時。締切は2018(平成30)年2月上旬(予定)。

記入事項: 著者名、書名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

送付先: 東洋音楽学会 第35回田邊尚雄賞選考委員会
(郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3
三春ビル307号
(FAX) 03-3832-5152
(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員: 奥山けい子、梶丸岳、加藤富美子、寺田吉孝、
吉野雪子

会員の受賞

◇時田アリソン氏が第28回小泉文夫音楽賞を受賞

会員の時田アリソン氏が、「日本の語り物音楽に関する長年の研究と共同研究の見事な組織づけによって、民族音楽学に貢献したこと」に対して第28回小泉文夫音楽賞を受賞されました。授賞式は2017年6月8日に行われました。

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ

1. 会費納入のお願い

2017年9月から新しい年度(2017年度)が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員: 8,000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者: 6,000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九(ゼロイチキュー)店 (019)

[当座] 0055723

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ (<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>) でご確認の上、お申し込みください。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第83号(2018年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は、機関誌編集委員会において改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ず行ってください)。分量の限度が守られていない投稿がしばしば見受けられます。ご注意ください。

送付先: 〒190-8520 東京都立川市柏町5-5-1

国立音楽大学 音楽学研究室内

東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法：プリントアウトした原稿を郵送してください。

ただし、書留郵便にはしないでください。直接持参、メール添付は受け付けておりません。

締め切り：2017年12月11日(月) 必着

ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ

1. 第44回 ICTM 世界大会 (於：アイルランド) の報告

去る2017年7月13日～19日、アイルランドのリムリック大学にて、第44回 ICTM 世界大会が行われました。プログラム委員によると、800以上の発表申し込みの中から、最終的に約520件が採択されました(プログラム委員会企画のパネル等を除く)。日本国内外在住の日本人研究者の発表も多く、報告者が確認できただけでも20件弱ありました。大学院生の発表もあり、若手研究者のこれからの活躍が期待される大会となりました。

ICTMの世界大会では、ホスト国のパフォーマンスがプログラムに組み込まれているのも楽しみの一つです。今大会では、開会式で学生によるアイルランド音楽演奏とアイルランドの競技ダンスのデモンストレーションが行われ、初日から会場を盛り上げました。会期中には、今大会のホストであるリムリック大学アイリッシュ・ワールド・アカデミー (Irish World Academy of Music and Dance) の教師陣と学生を中心とするコンサートも行われ、アイルランド伝統音楽と舞踊が、大学という教育機関の中で生き生きと伝承され、かつ新たな試みとともに展開を見せていることが感じられました。当アカデミーは、これまでアイルランドの音楽と舞踊、及び声楽と舞踊の学士号のプログラムを提供してきましたが、2017年9月からは、新たにコンテンポラリー・ダンスとワールド・ミュージックの専攻も設けられます (<http://www.irishworldacademy.ie/> 学校案内より)。

アイリッシュ・ワールド・アカデミーの創設メンバーの一人である Mícheál Ó Súilleabháin 氏による基調講演(タイトル “The Redress of Music: Music, Mediation, and Parity of Esteem”)では、政治的・歴史的要因による文化的・音楽的不均衡を正すための調停 (mediation) が必要であること、その調停の過程を通じて、多様な音楽文化が等しく再評価されるべきことが主張されました。氏自身は、アイルランド伝統音楽と西洋芸術音楽の両方の世界に関与することで、自分自身の表現手段を発見したといえます。アイルランド音楽の学位を授けるアイリッシュ・ワールド・アカデミーは、西洋芸術音楽を偏重してきた大学組織において、氏の言う「調停

の役割を果たしているといえるのでしょう。基調講演の後半は、アイルランド音楽のフィドル奏者であり、世界的に活躍する指揮者でもある Sinead Hayes 氏、アイルランドの伝統歌唱、シャンノースの歌手で、オーケストラともコラボレーションしている Iarla O'Lionaird 氏、作曲家であり、またアイルランド音楽で用いられる打楽器、バウロンの奏者でもある Mel Mercier 氏をゲストに迎えた座談会の形をとりました。Ó Súilleabháin 氏同様、すべてのゲストが、アイルランド伝統音楽と西洋芸術音楽の両方に携わっており、両者の間を隔ててきた壁を崩していくことの重要性、それによって広がる可能性が、それぞれの体験をもとに語られました。日本では伝統という言葉の使い方に関する議論がありますが、この基調講演では、アイルランド音楽が Irish music ではなく、traditional music と呼ばれていたことも印象に残りました。

7月15日に行われた総会では、以下のような様々な報告がありました。

1) 国内・地域委員会 (National and Regional Committees)、および会員について

ICTMの国内委員会、あるいは地域委員会をもつ国・地域は、2011年時点で75でしたが、2017年までに127に増加しました。会員数そのものも増加傾向にあり、現在約1100人です。全体に占める国別会員の割合は、アメリカが最も多く全体の21%、日本は2番で8%となっています。今年の総会では、アメリカの民族音楽学会 (SEM=Society for Ethnomusicology) の会長で、ICTM会員でもある Anne K. Rasmussen 氏が SEM の紹介を行い、SEM への参加を促していたのも印象的でした。

2) 役員選挙結果

今回の選挙の結果、(以下敬称略) Salwa El-Shawan Castelo-Branco (ポルトガル) が、会長として続投、Svanibor Pettan (スロヴェニア) が副会長として続投、理事には、Naila Ceribašić (クロアチア)、Catherine Foley (アイルランド)、Don Niles (パプアニューギニア)、Marie Agatha Ozah (ナイジェリア) が就任しました。ちなみに、現在任期にあるその他の役員は、副会長の Razia Sultanova (イギリス)、理事の Jonathan P.J. Stock (イギリス/アイルランド)、Tan Sooi Beng (マレーシア)、寺田吉孝 (日本)、J. Lawrence Witzleben (アメリカ)、および Xiao Mei (中国) です。

3) 機関誌編集委員会

一年に一度発行される機関誌、*Yearbook for Traditional Music* の編集体制も新たになり、10ヶ国から選ばれた11名による編集委員会が組織されました。日本からは、小西潤子

氏が委員会メンバーとなっています。その他、ノルウェー、オーストラリア、台湾、アルゼンチン、フランス、ブラジル、タンザニア、トルコ、アメリカ合衆国(2名)から代表が選ばれています。

4) 学生部 (ICTM Student Organization) の設置

学生有志により、ICTM 学生部を組織する計画が報告され、興味のある学生へ、総会後行われる準備会への参加が呼びかけられました。実現すれば、ウェブサイトで告知されます。

2. 第45回 ICTM 世界大会のお知らせ

日時：2019年7月11日～17日

場所：Chulalongkorn University

(チュラロンコン大学、タイ、バンコク)

テーマ

1. Transborder Flows and Movements
2. Music, Dance and Sustainable Development
3. The Globalization and Localization of Ethnomusicology and Ethnochoreology
4. Music and Dance as Language
5. Approaches to Practice-Based Research
6. New Research

プログラム委員

Tan Sooi Beng (委員長) - マレーシア

Keith Howard (委員長) - イギリス

Ricardo Trimillos - アメリカ

Susanne Furniss Yacoubi - フランス

Dan Bendrups - オーストラリア

寺内直子 - 日本

Irene Loutzaki - ギリシャ

Deise Lucy Montardo - ブラジル

Made Mantle Hood (大会実行委員兼任) - インドネシア

John Morgan O'Connell - イギリス

Ursula Hermetek - オーストリア

3. ICTM 担当委員(minako.waseda@gmail.com)からのお願い

1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうち ICTM 会員に対して、担当委員より不定期に ICTM に関するお知らせを一斉送信しています。現在までに一斉メールを受信されていない方、また現

在 ICTM 会員でない方で、今後 ICTM に関するメール連絡を希望される場合は、担当委員までお知らせください。

2) ICTM 関連の情報提供について

ICTM 内の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に会報を通じて発信します。ご協力よろしくお願いいたします。

3) ICTM 会報 (Bulletin) 掲載記事について

東洋音楽学会は、ICTM の日本国内委員会として機能しています。国内委員会からの報告を ICTM 会報に掲載することができます。ICTM 会員の皆様から、ICTM 会報に掲載を希望する報告事項(ご自身の出版物や日本で開催された国際会議の報告、日本における国際学会のお知らせなど)がありましたら、担当委員までお知らせください。

東日本支部からのお知らせ

◇特別例会(11月15日)について

11月半ばに、南音の演奏者・研究者として知られる蔡雅艺氏と陳思来氏が、中国より来日します。東日本支部では、別紙のように、11月15日に特別例会を開催します。別紙をご参照いただき、奮ってのご参加、お待ちしております。

◇定例研究会発表募集(2月例会)について

東日本支部では、2018年2月3日の定例研究会での研究発表を募集しています。

発表をご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、11月20日までに、東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望をご提出後1週間経過しても事務局からの連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307号

東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : tog.higashi@gmail.com

西日本支部からのお知らせ

◇定例研究会について

これからの予定は以下のとおりです。詳しい内容については、後日配布する支部だより、あるいはHPをごらんください。

○第277回定例研究会(2017年9月30日、京都教育大学)
博士論文発表(井上航、久岡加枝)、ワークショップ付研究発表(矢野原佑史)

○第278回定例研究会(2017年11月18日、大阪大学)
研究発表(タイ王国北部における伝統芸能、Thitipol Kanteewong、伊藤悟ほか)

なお、今後の例会において発表を希望される方は、西日本支部事務局(支部長個人)あてにメールでお申し込みください。返信がない場合は、繰り返し督促してください。

[西日本支部事務局]

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター

藤田隆則研究室気付

電話/Fax: 075-334-2392

電子メール(藤田隆則): tfujita@kcuu.ac.jp

会員異動

「個人情報のため削除」

図書・資料等の受贈

(2017年5月~7月、到着順)

『楽道』4,5,6,7月号 (公財)正派邦楽会

『能楽資料センター紀要』No.28

武蔵野大学能楽資料センター

『近代における能楽の伝授と受容の諸相——免状に見る梅若家と素人弟子——』

科学研究費助成事業研究成果報告書

研究代表者 三浦裕子(武蔵野大学能楽資料センター)

『民俗芸能研究』第62号

民俗芸能学会

『林謙三「隋唐燕楽調研究」とその周辺』

長谷部剛・山寺三知 共編訳 関西大学出版部

『演劇映像』第58号

早稲田大学演劇映像学会

『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書2016年度

「常磐津節演奏者名鑑 第6巻」(近代4:明治期から昭和期まで(中))』

竹内有一編著 常磐津節保存会

『響きあう身体——音楽・グローブ・憑依』

山田陽一 春秋社

『雅楽だより』第50号

雅楽協議会

『樂學軌範訓讀』

成俔ほか撰、和田一久疏 箏曲京極流上北野樂堂

『慵齋叢話訓讀』

成俔著、和田一久訓讀・語釋 箏曲京極流上北野樂堂

『京極流箏曲入門』

塚本一郎原編著 和田一久増補改訂

箏曲京極流上北野樂堂

『京極流三代實録』

和田一久編 箏曲京極流上北野樂堂

『荻原濱子資料』

和田一久編 箏曲京極流上北野樂堂

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)、価格(税別)

『悪魔のすむ音楽』

若林暢、久野理恵子(訳)、音楽之友社、1,800円

『美しき雅楽装束の世界』

遠藤徹、青木信二(撮影)、淡交社、3,200円

『江戸遊里の記憶——苦界残影考』(ゆまに学芸選書ULULA12)

渡辺憲司、ゆまに書房、2,200円

『エリック・ミヤシロがガイドする——管楽器奏者のための楽器
スーパー上達術』

エリック宮城(解説)、佐伯茂樹(編)、
音楽之友社、1,800円

『荻原濱子資料(限定版)』

和田一久(編)、箏曲京極流上北野楽堂

『オーストラリア先住民とパフォーマンス』

佐和田敬司、東京大学出版会、7,800円

『音の表現辞典』

中村明、東京堂出版、2,500円

『オペラの未来』

ミヒヤエル・ハンペ、井形ちづる(訳)、水曜社、2,700円

『音楽と建築(復刊)』

ヤニス・クセナキス、

高橋悠治(編訳)、河出書房新社、2,800円

『音楽を考える人のための基本文献34』

椎名亮輔(編著)、

三島郁・他(著)、アルテスパブリッシング、2,200円

『楽學軌範訓讀(限定版)』(再版)

成俣ほか撰、和田一久疏、箏曲京極流上北野楽堂

『歌舞伎とはいかなる演劇か』

武井協三、八木書店古書出版部、8,800円

『韓国農楽と羅錦秋——女流名人の人生と近現代農楽史』(ブック
レット《アジアを学ぼう》)

神野知恵、風響社、800円

『京極流三代實録(限定版)』

和田一久(編)、箏曲京極流上北野楽堂

『クラシックでわかる世界史——時代を生きた作曲家、歴史
を変えた名曲(改定新版)』

西原稔、アルテスパブリッシング、1,900円

『サステナブル・ミュージック——これからの接続可能な音楽の
在り方』

若尾裕、アルテスパブリッシング、1,800円

『世界の民族音楽(音楽鑑賞 Blu-ray Disc)』

教育芸術社(企画/発売)、教育芸術社、18,000円

『武智鉄二 歌舞伎素人講釈』

武智鉄二(著)、山本吉之助(監)、

アルファベータブックス、2,700円

『ダンスと音楽——躍動のヨーロッパ音楽文化誌』

クレール・パオラッチ、西久美子(訳)、

アルテスパブリッシング、2,200円

『チェリビダッケ——音楽の現象学(増補新版)』

セルジュ・チェリビダッケ、石原良哉(訳)、

アルファベータブックス、2,500円

『通奏低音弾きの言葉では、』

鈴木秀美、アルテスパブリッシング、2,200円

『東北の民俗芸能と祭礼行事』

菊地和博、清文堂出版、9,800円

『人形浄瑠璃文楽——外題づくし』

北浦浩弐(著)、鳥越文蔵(監)、

人形浄瑠璃文楽座(編)、工作舎、3,000円

『能『高砂』にあらわれた文学と宗教のはざま』

島村眞智子、富山房インターナショナル、6,800円

『能と狂言15【特集】源氏物語と能——享受と創成』

能楽学会(編)、能楽学会、2,000円

『早歌の継承と伝流——明空から坂阿・宗砌へ(資料と注釈)』

岡田三津子(編)、三弥井書店、7,600円

『林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺(日本語版復元)』

長谷部剛・山寺三知(共編訳)、関西大学出版部、2,200円

『響きあう身体——音楽・グローブ・憑依』

山田陽一、春秋社、3,000円

『ピリオド楽器から迫る オークストラ読本』(ONTOMO MOOK)、

音楽の友(編)、佐伯茂樹(監)、音楽之友社、1,600円

『フーガとソナタ——音楽の2つの文化について』

アウグスト・ハルム、西田紘子・堀朋平(訳)、

音楽之友社、2,200円

『古い音楽における装飾の手引き』

ハンス=マルチン・リンデ、高野紀子(訳)、

全音楽譜出版社(菊倍版)、1,700円

『文化のなかの西洋音楽史』

ポール・グリフィス、小野寺肅(訳)、

石田一志(日本語版監)、音楽之友社、3,000円

『マエストロ・パッティストーニの——ぼくたちのクラシック
音楽』

アンドレア・パッティストーニ、加藤浩子(監訳)、

入江珠代(訳)、音楽之友社、1,900円

『モダニズム以後の芸術』(藤枝晃雄批評選集)

藤枝晃雄、東京書籍、3,000円

『大和猿楽史参究』(岩波オンデマンドブックス)

表章、岩波書店、13,000円

『欲望と誤解の舞踏——フランスが熱狂した日本のアヴァン
ギャルド』

シルヴィアヌ・マジエス(著)、パトリック・ドゥヴォス(監訳)、

北原まり子・宮川麻理子(訳)、慶應義塾大学出版会、5,400円

『読むオペラ——聴く前に、聴いたあとで』

堀内修、音楽之友社、2,200円

『歴史を学ぶ人々のために——現在をどう生きるか』

東京歴史科学研究会(編)、岩波書店、2,500円

『ワーグナーシュンポシオン2017——特集 ワーグナーの呪縛(1)』

日本ワーグナー協会(編)、アルテスパブリッシング、2,900円

新着視聴覚資料

●CD

『BREATH (和楽器の名演シリーズ/高音質CD [UHQCD])』

山本邦山・富樫雅彦・山下洋輔、COCJ-40072、2,000円

『SHAKUHACHI ~ HOZAN YAMAMOTO VS FOUR MEN [UHQCD]』

(尺八) 山本邦山 VS 佐藤允彦・他、COCJ-40073、2,000円

『THE CONCERTO 遠藤千晶 箏リサイタル』

遠藤千晶、VZCG-813、3,000円

『雅楽ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2017』

KICW-6059、2,000円

『完全マスター 市丸の歌唱法 (一)』

市丸、江戸小歌十八代宗家：中村市之輔 (監)、

VZG-5、2,500円

『義太夫三味線～和楽器の名演シリーズ [UHQCD]』

鶴澤清治、COCJ-40074、2,000円

『吟詠の友(33)平成28年度 日本コロムビア全国吟詠コン

クール優秀者～模範吟・伴奏付』 COCJ-39993、2,389円

『吟詠ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2017』

KICW-6058、2,000円

『佐藤祐幸の民謡 北国の郷愁と鹿角民謡』

佐藤祐幸、COCJ-40071、2,222円

『箏曲ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2017』

KICW-6060、2,000円

『東京楽所/雅楽の世界～越天楽・蘭陵王～和楽器の名演シリーズ [UHQCD]』

COCJ-40076、2,000円

『東京楽所/PCM録音による 雅楽』

オンデマンドCD、CORR-11248、2,381円

『長唄ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2017』

KICW-6056、2,000円

『日本太鼓の魅力 [UHQCD]』

COCJ-40075、2,000円

『日本の太鼓ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2017』

KICW-6055、2,000円

『ふるりの民踊 (第57集)』

佐々木理恵、藤山進、KICH-310、3,000円

『謡曲ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2017』

KICW-6057、2,000円

『和楽器のすべてベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー

2017』

KICW-6054、2,000円

●DVD

『箏とともに家元を生きる/中島靖子 人と音楽 (2枚組)』

中島靖子、VZBG-53~54、8,000円

『THE CONCERTO 遠藤千晶 箏リサイタル』

遠藤千晶、VZBG-55、3,500円

編集後記

毎年、秋の大会プログラムとともにお届けする9月号の編集作業では、公開演奏会や基調講演の予告記事に期待が膨らみます。今号では夏のICTMの詳細な報告記事も掲載しております。是非ご一読ください。沖縄で皆さんとお会いできるのを楽しみにしながら、担当編集委員一同、心を込めて作成した会報をお届けいたします(増野)。

会報編集委員会

理事：澤田篤子、増野亜子

委員：山下正美

参事：大久保真利子、神野知恵、中川優子、松本民菜、
安原道子、横山洸